多重定格選択

Pr.	GROUP	名称
570	E301	多重定格選択

定格電流、過負荷耐量の異なる 4 つの定格を選択できます。用途に合わせて最適なインバータが選択でき、設備の小形化が図れます。

Pr.570 設定値	内容
0 *1	SLD 定格 110% 60s、120% 3s（反限時特性） 周囲温度 40 ℃
1	LD 定格 120% 60s、150% 3s（反限時特性） 周囲温度 50 ℃
2（初期値）	ND 定格 150% 60s、200% 3s（反限時特性） 周囲温度 50 ℃
3 *1	HD 定格 200% 60s、250% 3s（反限時特性） 周囲温度 50 ℃

*1　標準構造品のみ設定できます。

Pr.571 ≫ Pr.13 の項参照

アナログ入力端子の電流入力チェック

Pr.	GROUP	名称	Pr.	GROUP	名称
573	A681 T052	4mA 入力チェック選択	777	A681 T053	4mA 入力チェック検出時運転周波数
778	A682 T054	4mA 入力チェック検出フィルタ			

アナログ入力端子 2、端子 4 に電流入力している場合、電流入力が一定レベル以下に低下（アナログ電流入力喪失）したときの動作を選択できます。アナログ電流入力が喪失した場合でも運転継続させるとができます。

Pr.	設定範囲	内　容
573	1	電流入力喪失前の出力周波数で運転継続
	2	電流入力喪失検出時 4mA 入力喪失異常（E.LCI）動作
	3	電流入力喪失検出にて減速停止。停止後、4mA 入力喪失異常（E.LCI）動作
	4	**Pr.777** 設定値で運転継続
	9999（初期値）	電流入力チェックなし
777	0 ～ 590Hz	電流入力喪失時の運転周波数を設定します。（**Pr.573** ＝ “4” の時有効）
	9999（初期値）	**Pr.573** ＝ “4” の時電流入力チェックなし
778	0 ～ 10s	電流入力喪失検出時間を設定します。

Pr.574 ≫ Pr.95 の項参照

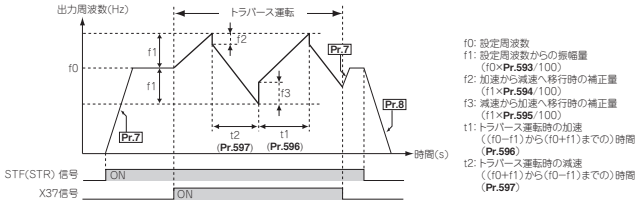
Pr.575 ～ 577 ≫ Pr.127 の項参照

トラバース機能

Pr.	GROUP	名称	Pr.	GROUP	名称
592	A300	トラバース機能選択	593	A301	最大振幅量
594	A302	減速時振幅補正量	595	A303	加速時振幅補正量
596	A304	振幅加速時間	597	A305	振幅減速時間

一定の周期で周波数を振幅させるトラバース運転が可能です。

Pr.	設定範囲	内　容
592	0	トラバース機能無効
	1	外部運転モード時のみトラバース機能有効
	2	運転モードに関係なくトラバース機能有効
593	0 ～ 25%	トラバース運転時の振幅量
594	0 ～ 50%	振幅反転時（加速→減速）の補正量
595	0 ～ 50%	振幅反転時（減速→加速）の補正量
596	0.1 ～ 3600s	トラバース運転時に加速している時間
597	0.1 ～ 3600s	トラバース運転時に減速している時間



不足電圧保護レベルを可変する

Pr.	GROUP	名称
598	H102	不足電圧レベル

電源電圧が不安定な場合などにより、不足電圧（E.UVT）が動作する場合、不足電圧レベル（直流母線電圧値）を変更できます。（400V クラスのみ有効）

Pr. 598 設定値	内　容
DC350 ～ 430V	E.UVT が発生する直流電圧値を設定します。
9999(初期値)	DC430V で E.UVT 発生

Pr.599 ≫ Pr.30 の項参照

Pr.600 ～ 604 ≫ Pr.9 の項参照

Pr.609、610 ≫ Pr.57 の項参照

Pr.611 ≫ Pr.57 の項参照

Pr.639 ～ 648、650、651 ≫ Pr.278 の項参照

速度スムージング制御 V/F

Pr.	GROUP	名称	Pr.	GROUP	名称
653	G410	速度スムージング制御	654	G411	速度スムージングカットオフ周波数

モータ駆動時に発生する機械の振動（共振）を緩和することができます。

- **Pr.653** に 100% を設定し、振動が解消されるか確認し、徐々に設定値を大きくしていき、振動が最も小さくなるように調整します。
- 測定器などで機械共振による振動周波数（トルク変動、速度変動、コンバータ出力電圧変動の周波数）が分かる場合は、**Pr.654** に振動周波数の 1/2 ～ 1 倍の周波数を設定します。（共振周波数範囲を設定することで、振動軽減の効果を向上することができます。）